

問1 19世紀、イギリスは自国の綿織物をインドへ、インドで作らせたアヘンを清へ輸出させる「三角貿易」の仕組みを築きました。この貿易構造が当時の清にもたらした経済的な影響として最も適切な説明を選びなさい。 (2026年 高知公立入試 類似)

1. アヘンの輸入代金として、清国内の銀が国外へ大量に流出した
2. イギリスへの茶の輸出が急増したことで、清国内に大量の銀が流入した
3. インドから安価な綿織物が流入したことで、清の国内綿産業が飛躍的に発展した
4. イギリスから最新の工業製品が直接持ち込まれ、清の産業の近代化が急速に進んだ

問2 1860年代後半、薩摩藩や長州藩が武力による倒幕を目指す動きを強める中で、江戸幕府の第15代将軍である徳川慶喜が行った、約260年続いた江戸幕府を終わらせる契機となった行動はどれですか。 (2017年 滋賀公立入試 類似)

1. 政権を天皇に返上する大政奉還を行った。
2. 土地と人民を天皇に返す版籍奉還を求めた。
3. 藩を廃止して県を置く廃藩置県を宣言した。
4. 朝廷と幕府が協力する公武合体を推進した。

問3 19世紀半ば、江戸幕府はそれまでの強硬な対外政策を改め、日本に接近する外国船に対して「燃料や水を与えて穏やかに退去を求めろ」という方針を打ち出しました。この方針転換の直接的な背景となった、隣国の清がイギリスに敗北した出来事を何とといいますか。 (2019年 神奈川県公立入試 類似)

1. アヘン戦争
2. 辛亥革命
3. 日清戦争
4. 義和団事件

問4 1850年代の外交史において、アメリカ側に食料や薪水(しんすい)の提供を認めた日米和親条約の4年後に、大老の井伊直弼によって調印され、函館や神奈川などの港を開いて自由な貿易を認めた条約の名称として最も適切なものを選びなさい。 (2017年 滋賀公立入試 類似)

1. 日米修好通商条約
2. 日米和親条約
3. 日清修好条規
4. 神奈川条約

問5 アメリカ東インド艦隊司令官ペリーが浦賀に来航し、大統領の国書を提出して開国を要求したことをきっかけに、日本は長い鎖国体制を終えることとなりました。その後結ばれた日米修好通商条約が「不平等条約」と呼ばれる大きな理由の一つである「関税自主権の欠如」について、その仕組みを説明したものとして適切なものを選びなさい。 (2019年 千葉県公立入試 類似)

1. 自国の判断で関税率を決定できないため、外国産の安価な綿製品などが流入し、国内の生産者に打撃を与えた。
2. 領事裁判権を認めたことにより、外国人が日本で犯罪を犯しても日本側が関税を徴収して罰することができなくなった。
3. 幕府が貿易を独占する権利を失ったため、諸藩が自由に外国と関税を交渉できるようになり国内経済が混乱した。
4. アメリカ側の要求により、日本からの輸出品に対してのみ高い関税をかけることが義務付けられた。

問6 1858年にポーハタン号などの艦上で調印された日米修好通商条約などの不平等条約において、日本側に認められていなかった、輸出品や輸入品にかかる税率を自国で決定する権利を何とといいますか。 (2020年 北海道公立入試 類似)

1. 関税自主権
2. 領事裁判権
3. 治外法権
4. 参政権

問7 日本では江戸幕府が倒れ、戊辰戦争を経て明治維新へと進んでいた19世紀後半、世界各地でも国家の統一や近代化に向けた大きな動きが見られました。この時期のアメリカ合衆国の状況について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2024年 千葉県公立入試 類似)

1. 自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対立し、大規模な内戦が展開された。
2. イギリスの植民地支配からの独立をめざして戦争が起こり、自由と平等を掲げた独立宣言が発表された。
3. 絶対王政による専制に対して市民が立ち上がり、人権宣言が採択されて国王が処刑される革命が起きた。
4. 国王が議会を無視して増税を強行したことから内乱となり、最終的に血を流さずに立憲君主制へと移行した。

問8 19世紀半ばの国際情勢を記した年表において、1851年にロンドンで第1回万国博覧会が開催され、その2年後の1853年にはアメリカのニューヨークでも万国博覧会が開催されたことが示されています。当時のイギリスがロンドンで博覧会を開催した主な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2025年 沖縄公立入試 類似)

1. 産業革命によって発展した自国の圧倒的な工業力や科学技術を、世界に誇示するため
2. ロシアが進めていた南下政策を阻止するために、周辺諸国との軍事同盟を強化するため
3. 植民地に対する新たな税を課すために、各国の代表者を集めて同意を得るため
4. アメリカのニューヨークで開かれた博覧会に対抗し、アジア諸国との貿易独占を宣言するため

## 答え合わせ・解説

問1	<b>答え 1</b> <b>アヘンの輸入代金として、清国内の銀が 国外へ大量に流出した</b>	18世紀までのイギリスは、清から茶を大量に輸入する一方で、清へ売るものがないため大幅な貿易赤字となり、代金として多額の銀が清へ流出していました。この状況を打開するため、イギリスは植民地であるインドでアヘンを栽培させ、それを清へ密輸して代わりに銀を回収する仕組み（三角貿易）を構築しました。その結果、清では銀が不足して地価や税負担が上昇し、経済が混乱するとともにアヘン中毒者の増大が深刻な社会問題となりました。
問2	<b>答え 1</b> <b>政権を天皇に返上する大政奉還を行っ た。</b>	徳川慶喜は、倒幕派による武力攻撃の口実をなくすため、自ら政権を朝廷に返上しました。これにより武家政治の時代が終わり、新政府への移行が始まりましたが、徳川家は依然として政治的影響力を残そうと考えていました。
問3	<b>答え 1</b> <b>アヘン戦争</b>	1840年に始まったアヘン戦争で、大国であった清がイギリスに敗北したというニュースは、オランダ風説書などを通じて江戸幕府に大きな衝撃を与えました。幕府は、このまま異国船打払令による武力排除を続ければ、日本も清と同様にイギリスなどの強大な軍事力を持つ国々と戦争になり、敗北する恐れがあると判断しました。この危機感から、1842年に政策を転換することとなりました。
問4	<b>答え 1</b> <b>日米修好通商条約</b>	1854年に結ばれた日米和親条約は開国（寄港地の提供）を目的としていましたが、1858年の日米修好通商条約は本格的な貿易の開始を目的とした条約です。この条約に基づき、日本は函館、神奈川（横浜）、長崎、兵庫、新潟の5港を開港しました。
問5	<b>答え 1</b> <b>自国の判断で関税率を決定できないた め、外国産の安価な綿製品などが流入 し、国内の生産者に打撃を与えた。</b>	日米修好通商条約で関税自主権が失われた結果、日本は自国の産業を守るために必要な関税率を独自に設定できなくなりました。実際に、イギリスやアメリカから機械製の安い綿製品が大量に入ってきたことで、日本の伝統的な綿作や手織りによる綿布産業は深刻な打撃を受けることとなりました。これが明治以降、条約改正（関税自主権の回復）が国家の悲願となった背景です。
問6	<b>答え 1</b> <b>関税自主権</b>	日米修好通商条約では、日本が輸入品に対して自由に税率を決めることができず、相手国との協議で決めることになっていました。このように、自国で独自に税率を定める権利がない状態を、関税自主権の欠如といいます。これに対し、外国人が日本で犯した罪をその国の領事が裁く権利は領事裁判権（治外法権）と呼ばれ、関税自主権とともに幕末から明治にかけての条約改正における大きな課題となりました。
問7	<b>答え 1</b> <b>自由貿易と奴隷制廃止を求める北部と、 保護貿易と奴隷制維持を求める南部が対 立し、大規模な内戦が展開された。</b>	日本の幕末から明治維新にかけての時期（1860年代）は、アメリカでは南北戦争が戦われていた時期に相当します。北部はイギリス製品に対抗するため保護貿易を求めましたが、南部は原材料を輸出するため自由貿易を求めるなど、経済面でも対立がありました。他の選択肢は、18世紀のアメリカ独立戦争やフランス革命、17世紀のイギリスにおける名誉革命の説明です。
問8	<b>答え 1</b> <b>産業革命によって発展した自国の圧倒的 な工業力や科学技術を、世界に誇示する ため</b>	1851年のロンドン万国博覧会は、「世界の工場」としての地位を確立していたイギリスが、自国の工業製品を広く紹介し、その優位性を世界に示すために開催されました。当時、ハイドパークには巨大なガラス張りの建物（水晶宮）が建設され、蒸気機関などの最新技術が展示されました。